

資生堂講演①～20090326～

仕事の仕方が変わるように気がした。

内容がとてもシンプルでわかりやすかった。

すでに実施しているが、仕事を図で考えることに共感した。この考え方をより一層推進していきたいと考える。

図で考えるということは、意識するかしないかで大きな効果がでるため、非常に参考になりました。

他の本に、図で考えることの重要性が書いてあったのですが、その理由や方法がなかったので、今回の講演を聞いて、理解することができました。わかるとできるは別ですが、頑張ります。

「図」も大変奥が深いことを知り、感銘しました。ものごとを俯瞰して見ることが出来、全体観を身につけるのには最適だと思い、業務の中で極力実践して行こうと思います。

実践的なお話であったと思いますが、時間の制約がきつく、長時間の研修でやったらおもしろいと思いました。

枝葉の話が多く、エッセンスは15分程度の量しか語られていなかったように思った。あの内容の発表であれば、ワークの時間を増やしたら、より実用的な時間になったと思う。結果論を申し上げすみません。

ビジュアルで語れるように意識していましたが、改めてその大切さを認識しました。

「図で考える」難しさをあらためて認識されられたし、その重要度も理解できた。頂いた本を読み、理解を深めたい。

物事を体系化することや、整理して話すことの大切さは重々承知しているつもりですが、図を描くのはそのためにとてもよい訓練になるので早速実践してみたいと思います。

図で「私の仕事」を説明するのは、思いの他、難しかった。でも図で書くと、確かに考える力がつきそうだと思いました。演習があって、イメージがついたので、よかったです。

ものの考え方について、新たな認識をいただきました。参考にいたします。

とてもよかったです。図で考えるようにします。

自分の考えを図にしてみることで、自分の考えのあいまいな部分が認識できるようになりました。表現力を磨くだけでなく、考えを整理することに注力できる手法だと関心しました。

図解と聞いて身構えた方が多かったと思うが、スキルのものではなく、むしろ図解「思考」が大切で、その本質は『考えること』だという簡潔な真理は納得いくものがあった。この定義に沿えば、我々の仕事には図解「思考」で生産性が上がる案件は無限大にある。よきメッセージでした。反面、「図解」というテーマ故に、スキルの要素をもっと講演内に盛り込む方が、具体的な効力が理解されたと思い、残念である。

資生堂講演②～20090326～

仕事に役立ちそうでした。もう少し内容が濃いか時間が短いかにしていただきたきたいです。

"提案や企画案を作成する際、他社の事例などをベンチマークにするが、それ自体が自らの考える力を抑制させていると言う指摘が印象的であった。また文字よりも図のほうが圧倒的に情報量が多いことを実感し、図で考えることで実生活でも考える癖をつかせたいと思いました。"

“箇条書き”人間の私にとって、図解で示すことでの優先順位の把握や規模がわかりやすいこの表示法は大変参考になる講義内容でありました。

考える力をつけるには図解が良いことが講演を聴き分かった。また、自分の仕事を図解したとき、理解していない面など図のなかに現れているようです。改めて時間をとり図解して見たりしました。参考になりました。

「ビジュアル」思考の一つを、再確認した。「箇条書き」を読み取る力の低下と分かった振りをしてそれが通ってしまう環境に、に問題があるのでは・とも思った。そもそもコミュニケーションが出来なくても生きていける社会になっていることが問題では。いずれにしても現在の情報過多の中、訓練しないと思考力は身につかない・ことを実感。「人」が退化している・・・？また、秀才は箇条書き好き・・・という説には少し違和感をもった。「図式」の方が、本当にその本質を分かたないと思えないように思った(実習をしてみても・・・)

前半は講義の内容が理解しづらかったが、後半の実習を通して理解できた。

文書を書くことが苦手な私にとっても参考になるお話でした。有難うございました。

箇条書の弱点がよくわかりました。図解のメリットを先生のご経験からお話頂いたので、良くわかりました。

自分の仕事をいかに理解していないか、思い知らされました。発想の転換ができました。

4月に担当業務が変更になるため、後任者へ業務内容をどうやって伝えればよいかを考えていたので、図で伝える方法にトライしようと思いました。

図解を用いて理解や流れを深めることを学びましたが、講師の先生の言っていることとやっていることがアンバランスのように感じました。

図解を試みるのがいかに難しいか、そして人それぞれの頭の中で考えていることが違うことが明快になることがわかった。

今まで箇条書き信仰者であり、一度も疑いを持ったこともなかったので、箇条書きの欠点については衝撃を受けました。どの分野においても「できる人」というのは既成の物に「何故？」と思う能力があるんだなあ、と改めて感心致しました。ご自身の考え方だけでなく、多種多様な企業で公演した上での講義だったので、ひとつひとつに説に説得力がありました。図を描くというのは意外に難しいことに気が付きましたが、本当に実践したいと思っております。

確かに文章だけで語るのは難しく、よほどの文章力がない限り伝わりにくさを感じますが、図で捉えてみる方が理解しやすく、自分の頭の中うまく整理できて勉強になりました。

資生堂講演③～20090326～

久しぶりにとても感動する内容のお話が聞けてもっと普段からスキルアップしていないと置いていかれるな、と思いました。

仕事に対する新しい価値感を見つけました。

図解すると、自分の考えを客観的に整理できるので有効だと思いました。また、「全体感が欠如しがち」との指摘は身に染みました。

図解することの意味・利便性などを理解することができました。かなり厳しいご指摘と感じる部分がありましたが、それは思い当たるところがあると言うことと、再認識させられました。

「絵を描く」ということの大切さを再認識できました。

図を作成することによって、本質をつかむことの難しさ、大事さに改めて気づかされた。

まず、先生がエネルギッシュなことにびっくりするとともに、大変な博識に感動しました。先生もおっしゃったように、図解化は「考える訓練」になると思いますので、日々実践してみたいと思います。

"今回、久恒教授がおっしゃった目線は高く足元は深くの言葉がたいへん印象に残りました。日々の業務の中で内向しがちな姿勢をあらため、大きな視野にたつと同時に定例業務をさらに掘り下げて専門性を高めるために中断ない努力をこころがけようと思いました。"

以前、書籍を読んでとても関心もっていたので貴重な機会となりました！

大変面白かったです。以前先生の本を読んでいたので大変期待してました。期待通りだったです。箇条書きの思考からの脱却の必要性を再度感じました。

図解の講座でしたが、講師の提唱される図が見つらく、分かりづらいため、話に説得力がなかったように思います。

図で表現することの重要性を改めて認識しました。

図で思考することへの種をいただき、ありがとうございます。ロジカルシンキングにも興味を持っていましたが、図で思考することの違いも良く分かりました。まずは先生の書籍を読破することからはじめ、理解を深めて参ります。

図解が上手になりたいと以前から考えていたが、それには全体の構成と部分同士の関係を判り、更に練習もしていかななくてはならないことが良く判った。意識を高くもち、自分の脳で考えるためのツールなのだと改めて気づかされました。

「図で考える」ことはわかりやすいけれど、難しいと感じました。講演中に自分の仕事を図で表すという実践をしましたが、図でどう表せばいいのかわからず苦戦しました。